

英語科学習指導案

日時	平成24年10月10日(水) 4校時
会場	2年A組教室(校舎3階)
生徒	2年A組(男15名 女11名 計26名)
授業者	西野 真理子

1 単元名 PROGRAM7 If You Wish to see a Change (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 教材観

・本単元は、セヴァン・カリス＝スズキさんのリオでの伝説のスピーチ以後の彼女の成長を追いながら、環境破壊をはじめとするいろいろな問題を解決し「世の中の変化を見たいなら、まず自分が変わらなければならない」というガンジーのことばに共感し、行動を起こす必要性を説くセヴァンさんの生き方に触れることによって、生徒が自分の生き方を考えるように促すことをそのねらいとしている。同時に、〈動詞 - ing形〉(動名詞)、〈look[become]+形容詞〉、〈give+人+もの〉などの言語材料を学習する。生徒たちの身近な動作などをもとに言ったり書いたりする活動に取り組みせ、定着を図りたい。

(2) 生徒観

・学級は全体的に明るい雰囲気があり、授業における音読練習では多くの生徒がよく声を出し、ペア活動を通して互いに助け合う姿も見られる学級である。しかし、発問に対する挙手発言はやや固定化している。
・音読や暗唱といった活動ではよく声を出し繰り返し練習するなどの積極性が見られるが、書くことに対しては抵抗を感じており、基本的な知識や技能が不十分な生徒も少なくない。

(3) 指導観

・中心となる指導事項は、イ 話すこと「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」、ウ 読むこと「(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。」とする。
・本時の基本文は動詞の後ろに別の動詞が来るとき、動詞の - ingの形(動名詞)になるものである。動名詞の形をパターンプラクティスにより慣れさせ、書く活動では無理なく使えるようにしていきたい。
・まとまった文の大切な部分を読み取る力を培うために、一語一語の意味や一文一文の解釈など内容の特定部分にのみとらわれることなく、書き手の伝えようとするを適切に読み取れるようにしていきたい。

(4) 研究とのかかわり

- ・本時ゴールを明確にする課題設定<導入>
本時は、自分の好きなことや得意なことについて言えるようにすることを伝える。
- ・言語活動を充実させた活動による課題解決<展開>
新しい文法表現の形をパターンプラクティスにより慣れさせ、生徒同士の発表を通して確認、定着させる。また、個人でその表現を用いた文を作らせ発表し合い、表現の決まりが守られているかを再度確認させる。
- ・集団の学びを個に返すまとめと評価<終末>
学習を振り返り、ワークシートに記入させる。新しい文法表現を正しく使えるよう、ワークシートの形式を工夫する。

3 指導と評価の計画

2 年 英 語		単元（題材）名 PROGRAM7 If You Wish to see a Change		総時間 7 時間扱い	
学習指導要領の指導事項			単元目標		
<p>話すこと イ 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>読むこと ウ 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p>			<p>・新しく学習する〈動詞 - ing 形〉（動名詞）、〈look[become]+形容詞〉、〈give+人+もの〉を用いた文を、ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話すことができ、口頭練習を生かしてそれらの表現を用いた文を書くことができる。</p> <p>・まとまりのある英文を読み、要点を適切に読み取ることができる。</p>		
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
・ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話している。		・既習表現を用いて言ったり書くことができる。	・まとまりのある英文を読んで要点を適切に読み取ることができる。	<p>・〈動詞 - ing形〉（動名詞）を用いた文を理解している。</p> <p>・〈look[become]+形容詞〉を用いた文を理解している。</p> <p>・〈give+人+もの〉を用いた文を理解している。</p>	
時間	主な学習活動 ／評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1 2	<p>・動名詞を用いた文の構造を理解する。</p> <p>・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。</p> <p>【本時 1/2】</p>	<p>・ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話している。</p> <p>【観察・ペア活動の取り組み】</p>	<p>・自分が好きなことや得意なことについて言ったり書くことができる。</p> <p>【観察・シート】</p>	<p>・セヴァンさんに関する英文、セヴァンさんの語りを読んで要点を適切に読み取ることができる。</p> <p>【発言・シート】</p>	<p>・動名詞の文の構造を理解している。</p> <p>【シート、テスト(後日)】</p>
3 4	<p>・〈look[become]+形容詞〉を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>・ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話している。</p> <p>【観察・ペア活動の取り組み】</p>	<p>・人やものの様子や状態について既習表現を用いて言ったり書くことができる。</p> <p>【観察・シート】</p>	<p>・セヴァンさんに関する英文、セヴァンさんの語りを読んで要点を適切に読み取ることができる。</p> <p>【発言・シート】</p>	<p>・〈look[become]+形容詞〉を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【シート、テスト(後日)】</p>
5 6	<p>・〈give+人+もの〉を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>・ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話している。</p> <p>【観察・ペア活動の取り組み】</p>	<p>・だれかに何かを与えるということを既習表現を用いて言ったり書くことができる。</p> <p>【観察・シート】</p>	<p>・セヴァンさんの語りを読んで要点を適切に読み取ることができる。</p> <p>【発言・シート】</p>	<p>・〈give+人+もの〉を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【シート、テスト(後日)】</p>
7	<p>・セヴァンさんが伝えようとしていることをまとめる。</p>	<p>・ペアワークなどにおいて間違えることを恐れずに話している。</p> <p>【観察・ペア活動の取り組み】</p>	<p>・セヴァンさんが伝えようとしていることをまとめ、既習表現を用いて書くことができる。</p> <p>【観察・シート】</p>		<p>・〈動詞 - ing形(動名詞)〉を用いた文の構造を理解している。</p> <p>・〈look[become]+形容詞〉を用いた文の構造を理解している。</p> <p>・〈give+人+もの〉を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【シート、テスト(後日)】</p>

4 本時の指導（1／7）

【既習の学習】				
<ul style="list-style-type: none"> ・-ing形の作り方（1年） ・〈to+動詞の原形〉（不定詞） ・be good at～ 				
	学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
導入 15分	1 Warm-up 2 学習課題を把握する。 【ゴールを明確にした課題設定】 ・Basic Dialogを通して本時で学習する内容に気付かせる。	○既習表現を用いたペア活動 ○CDで聞いたあと、Dialogの内容を予測する。 ○Dialogの内容を確認する。 ○自分の好きなことや得意なことを言ってみることを伝える。	○既習事項の定着と授業の雰囲気づくりを目指して行う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分の好きなことや得意なことを言ってみよう。 </div>				
展開 27分	3 課題を追究する。 【言語活動】 (1) Listening を行う。 (2) Speaking を行う。 (3) Let's Try を行う。	○動名詞を使った表現をスラスラ言えるようにする。 ○自分の好きなことや得意なことをポイントにそってメモする。 ○メモをもとにスラスラ言えるように練習する。	○全体で練習した後、個人、ペアで練習する。 ○個人で取り組んだ後、ペアで発表し合う。 ○全体で発表させ交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【観点：外国語表現】 自分の好きなこと得意なことを言っている。 </div> 評価方法 【観察】 A: 提示した会話をより長く続けている。
終末 8分	4 自分の考えを再構築する。 【個に返す活動】 5 次時の学習内容を知る。	○学習を振り返り、ワークシートに記入する。	○単元を通して使用する振り返りのワークシートに本時のまとめをさせる。	
【次時や別単元での学習】				
<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、既習表現をポイントにセヴァンさんのスピーチ内容を読み取る。 				